

# 小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ) あかね小噺①～④

## 落語歳時記シリーズ



皐月(5月)の落語 「やかん」

「無学者論に負けず」と申します。「先生、ご無沙汰しています」、「良く来たな。愚者。どうした愚者。上がりたまえ愚者」「何です。愚者ってのは?」「愚かな者だ。お前は愚者愚者だ」「先生は何でも知ってるから、教えて欲しい。魚の名前の由来を」「鯨はどうしてクジラになったんですか」、「イワシはどうして」、「ヒラメはどうして」、「カレイは?」、「マグロは?」、「鰻は?」と次から次に聞く。先生は知ったかぶりをして答える。

やがて話題は日用品に移り、茶碗、土瓶、鉄瓶の名前の由来へと移行します。「鉄瓶はなぜ鉄瓶と呼ぶか」という問いに先生は「鉄でできた瓶だから」と短く答えますが、八五郎は更に「じゃあ、やかんは?」と畳みかける。

先生は、戦国時代の武将の逸話を交え、壮大な語り口で説明を始める。戦場で兜を失った武士が代わりに水を沸かしをかぶり、一斉に敵の矢が飛んできて、「カーン!」と当たった。

この「矢が当たってカーン、矢カーンでヤカんだ」とこじつける。さらに蓋や取っ手、注ぎ口についても次々こじつけ解説を続ける。



■ 二つ目 (小咄の稽古)

小ばなしの話し方の基本  
③目線(めせん)の決め方

目線は部屋の対角線に、目印を決め、目線を固定する。  
お客を直視しない、お客様の頭の少し上を見る

この後皆さまの「小ばなし」披露

■ 大喜利

今回も 謎かけ で、お題は「柏餅」「お茶」

次回は2026年6月1日(月)

次回のなぞかけのお題は「時計」「雨」